

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

甲賀市・湖南市 統一防火標語



街ぐるみ

職場ぐるみで

防火のそなえ

年末の住宅火災にご注意を！

本格的な冬の到来による暖房器具などの使用頻度の増加、また、年末の慌ただしさにより火気への注意力が低下することから、火災の発生が増加するおそれがあります。

令和4年中に発生した住宅火災では、全国で922人の方が亡くられており（放火自殺者等を除く。）、この内、692人（約75%）が65歳以上の高齢者でした。また、住宅火災の出火原因（上位5項目）は、「こんろ」「たばこ」「ストーブ」「配線器具」「電気機器」の順となっています。

甲賀広域行政組合消防本部では、12月1日から12月31日まで年末防火運動を実施しています。これから使用頻度が高くなる暖房器具を使用する際は、洗濯物など燃えやすいものから離して使用し、外出時や就寝時の火の元やたばこの消し忘れにも十分注意しましょう！また、火災を早期発見し、逃げ遅れを防ぐため住宅用火災警報器を設置しましょう！



住宅防火～いのちを守る10のポイント～

住宅火災を未然に防ぐために次の「4つの習慣・6つの対策」を心がけましょう！

<4つの習慣>

- (1) 寝たばこは絶対にしない、させない。
- (2) ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- (3) こんろを使うときは火のそばを離れない。
- (4) コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

<6つの対策>

- (1) 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- (2) 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- (3) 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- (4) 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- (5) お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- (6) 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

STOP!ヒートショック!!

熱中症による
死亡数

1,477人

※令和4年厚生労働省人口動態統計

交通事故による
死亡数

2,610人

※令和4年警察庁統計表

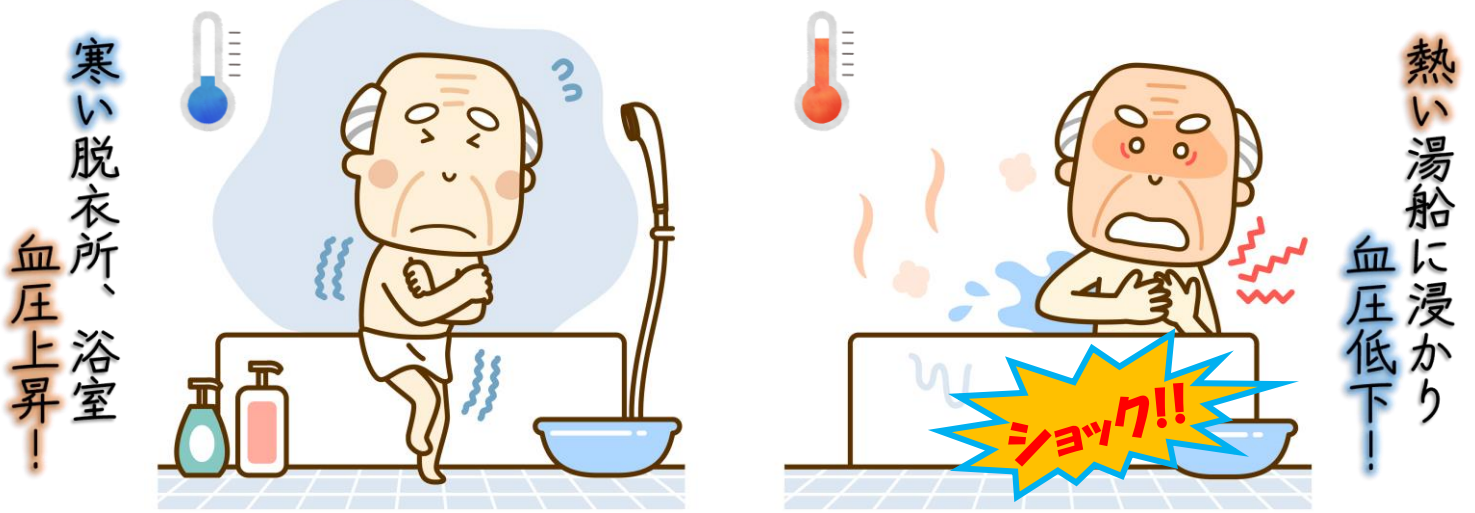
入浴中による死亡数

4,997人

(65歳以上4,679人)

※令和3年e-Stat政府統計総合窓口

ヒートショックは、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な温度変化によって、血圧が乱高下することをきっかけにして発生します。入浴時に多く、暖かい部屋から寒い脱衣所や浴室に入り、熱い湯船に浸かることで、血圧が急変動し、めまいや失神、心筋梗塞等を引き起こし、浴槽で溺れることにつながっています。特に65歳以上の高齢者は、血圧をコントロールする機能が低下しているため注意が必要です。令和3年の統計では入浴中の死亡数4,997人の内、4,679人(約93%)が65歳以上の高齢者となっています。



『自分は大丈夫』と過信しないで、しっかり対策を!

入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう

お風呂の温度は41度以下、お湯に浸かる時間は10分までを目安にしましょう

湯船からは手摺りなどを持ち、ゆっくりと立ち上がるようにしましょう

食後すぐの入浴や、飲酒后、医薬品服用後の入浴は避けましょう

お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かけましょう

家族は入浴中の高齢者の動向に注意しましょう

令和5年甲賀消防管内
災害発生状況(10月末現在)

火災 55件

救急 5582件

救助 90件

その他 167件

1月26日は、文化財防火デー



甲賀消防 Facebook



<https://www.facebook.com/kokashobo.119/>
※上記QRコードで簡単にアクセスできます。

Information
いろいろ情報板